

「会派みらい」の活動に注目してください

この度の東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様、またそのご家族の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりご祈念いたします。

海外の多くのメディアは東日本大震災の悲惨な現状をつたえるとともに、被災者の「我慢強さ」「冷静さ」「助け合いの精神」などに驚き、その背景などを分析し、日本人を称賛しています。不眠不休で災害に立ち向かう人、両親の消息が分からないのに職場にとどまり笑顔をやさず被災者に接する女性の看護師さんなどをニュースで見ますと、凄まじい状況の中で使命感を持って自らの立場を遂行する姿には頭が下がります。

今回の震災は被災地のみならず、個人の生活と経済活動に大きな支障をきたし、多くの方が痛みを伴うという前代未聞の出来事となりました。

「ひとり一人の日本人がその生き様を問いかけている」といっても過言ではないでしょう。又、この度の災害ほど、地方政治の意味、自治体における政治の重要性を実感させられました。

人々の生死を分ける鍵を握るのは、自治体の行政機構と首長に活動の自由と責任を与える、地方議会の意思決定ではないのか。未曽有の出来事に際し、国、政府の対応、責任ばかりに私達は目がいきがちです。

私はこうした災害に対処する担い手こそ現場に密着した自治体の行政、そのリーダーである首長と地方議会ではないのか。たとえば、何がどこで何が必要なのか、どこでどのような人を求めているのか、状況を把握し、指示できる人、役割が必要です。まさに議会の役割は地域住民にとって安全の保証人であり、共同体の崩壊を防ぐために行動することが求められており、自治体の議員の使命です。

税金を納めている市民とその税金を住民の為に使って、住民の暮らしの痛みや苦しみ、喜びを共感するには、税金の無駄遣いや、行政サービスの無駄を徹底的に省く事であり、議員の本質は議員である事を生活の基盤にしては駄目であり、住民の痛みと苦しみを和らげ癒し助ける事こそが政治の使命であり、議会、市議会議員の使命です。

今ほど、議会、議員の役割が厳しく問われているときはありません。閉塞感と失望を取り除くことは難しいことではありません。簡単なことです。「約束したことは必ず実行する」「危機に際しては素早く、大胆に、きめ細かく」ということです。その簡単なことを地方から正していかななくてはなりません。特に税収が減り、支出が減らない財政危機状態の中、税金を使い、使い方をチェックする立場にいるのが議会であり市議会議員です。

私たち「会派みらい」は、この厳しい状況を切り開いていけると私は確信しています。今こそ、私達はこの厳しい困難をひとり一人の力と知恵で乗り越え、議会、日常活動で経験し学んだ事を、責任を持って伝える事が私達の役目であり、「それは私のせいではない」と言って逃げることはしないと約束します。

これからも「会派みらい」の活動に注目していただき、ご意見、ご要望など遠慮なくおよせいただく様、よろしく申し上げます。

「会派みらい」会長 原 勉